

浦和レッズファミリーとともに

徒然正志

第10節鹿島戦を終えて

やはり大きい、柏木の不在は。パスの出どころ、前線の3人との連動がなかった。この傾向は、大宮戦の後半から、そう、柏木が怪我でピッチを後にしてから続いていた。大宮戦のラストは、ロングボールを放り込むだけで、繋いでサイドから崩す、またサイドを意識させ中央から崩すという、いつものレッズのサッカーが全くできていなかった。負けるべくして負けた一戦だった。鹿島戦も多くのチャンスを作ったとは、言い難い。やはり、決定的なチャンスは、柏木からうまれるのだ。柏木と前線3人の連動、サイドからの連動、これ無くして、レッズのサッカーは成り立たない。

今日は、新潟との戦い。柏木不在の報道もある。新潟からは、勝ち点3を絶対落とせない。そこで注目なのは、ボランチ矢島の起用である。ACLのFCソウル戦で後半から出場し見事な配給をしていた。森脇の代わりに阿部を持って行き、是非矢島を抜擢してもらいたい。やはり、誰かが怪我をした、体調が悪い時に、代わりに出る選手の活躍が、長いリーグ戦では、大事になる。ここで矢島が結果を出せば、また、新たな選択肢が増えてリーグ戦を戦えることになる。

ACLとリーグ制覇するためには、ただ、控えの選手がいるだけでなく、戦力となることによって、本当の意味でのチーム層が厚くなるというものだ。今日の新潟戦、ミシャには、是非、ボランチ矢島の抜擢をしてもらいたい。見て見たいのだ、レンタルバックされ、遅くなった矢島を。